

高等学校 聖書科シラバス

「3年間のねらい、学習目標」

同志社香里高等学校聖書科では、生徒各自が本校の建学の精神であるキリスト教主義と新島襄の思想を学び、学校を愛し、キリスト教主義による道德観を大切にしながら、本校生にふさわしい「良心の全身に充満した丈夫（ますらお：青年）」として成長することを目指す。

そのために、3年間を通して、キリスト教を生きた人物の生き様、歴史のイエス、宗教と生命倫理などの学習を通して、建学の精神に基づきながら、それぞれの主体的で自由な「生きる力」の涵養を目指す。

学年	第1学年	教科書	教材新島襄編集委員会『教材 新島襄』新教出版社。 他、随時プリントを配布する。
		副教材	『聖書 新共同訳』日本聖書協会 他、ビデオ教材など

学習到達目標

キリスト教史上における重要な人物（高校からの入学者のために新島襄も含む。内部進学生にとっては復習となる）の活躍についての基礎的な知識を備えると共に、世界史と人間の生き様が有機的に結びついていることへの実感を味わう。

また、そのような学びを通して、自分はいかに生きるべきか、いかに良心の全身に充満した人となるべきかを考える。それは、教師から一つの正解を与えるのではなく、生徒個々人の自由な意見を尊重しながら、個性的な解を引き出すことを目標としている。

学習方法

主に、近現代のキリスト教史上の偉人を取り扱う。プリントを多用した教室での座学と、視聴覚教室でのビデオを併用しながら、視覚的によくわかり、社会的、歴史的理解もできる授業を行う。

主に期末考査によって評価するが、同時に本校中学校で行ってきた、町中にある教会の礼拝を訪問して報告する「教会探検隊」（教会訪問レポート）、自由提出で学校礼拝の感想を書く「礼拝レポート」なども継続し、知識だけではなく多面的に評価する。（ただし、「教会探検隊」は高校では自由提出）

年間シラバス（1年間の学習予定表）

〈週1時間〉

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点・補講等
1 学期	1. 導入：人間とキリスト教 2. 創立者の精神を振り返る	1. 講師の牧師としてのフィールドも紹介し、キリスト教と社会との関わりを気づかせる。 1. 新島襄の生涯（生立ち・同志社） 2. 新島襄の遺したもの	期末考査 教会探検隊 礼拝レポート
2 学期	3. 日本のキリスト者 4. 世界のキリスト者	1. 新島八重 2. 新渡戸稲造 3. 内村鑑三 1. マザー・テレサ 2. キング牧師 3. コルベ神父	期末考査 教会探検隊 礼拝レポート
3 学期	5. 現代のキリスト者 6. まとめ	1. レーナ・マリア 2. 賀川豊彦 1. キリスト者とは何か	期末考査 教会探検隊 礼拝レポート

学年	第2学年	教科書	富田正樹『キリスト教との出会い 新約聖書』日本キリスト教団出版局 他、随時プリントを配布する。
		副教材	『聖書 新共同訳』日本聖書協会

学習到達目標

キリスト教発生の契機を与え、今なお世界の人びとに影響を保ち続けるナザレのイエスと、その生涯や語録を収めた新約聖書の福音書群に対する批判的、自由主義的な研究成果を紹介しながら、人間イエスの生き様と死に様を浮き彫りにすることを通して、自分自身の生き方と社会のあり方を考え直す力を育てることを目標とする。

批判的研究である為に、その内容はイエス批判、キリスト教批判、宗教批判にまで踏み込む。また、参加する生徒にも自己批判や相対化を求める。そうすることによって、本当の意味での同志社のキリスト教主義と自由主義を体現した人間になる事を目指す。

学習方法

新約聖書の中でも、特にイエスの生涯と語録を収めた「福音書」、特にマルコ、マタイ、ルカの3作（共観福音書）の講読形式で学習を進める。

まずテキストを読み、物語の背景を知りながら意味を解釈し、最後に自分の考えをまとめる。物語の背景や、関連するキリスト教文化を理解するために、必要に応じてプリントなどによって視覚的教材を用いる。

成績評価は期末考査を中心とする。考査は論述を重視し、自分の生き方や社会のあり方に対して、深く考えることを求める課題が出される。深く、詳しく考え、個性あるエッセイを高く評価している。また、自由提出の「教会探検隊」、「礼拝レポート」は高校1年生と同様、継続して受け付けている。

年間シラバス (1年間の学習予定表)

〈週1時間〉

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1 学期	1. 導入： 書物としての新約聖書 2. 公生涯以前のイエス	1. 新約聖書とはどのような書物か 2. 新約聖書はどのようにしてできたのか 3. イエスの活動した世界 4. イエス降誕物語批判 5. 少年時代、洗礼、誘惑物語批判 6. ナザレ派の人びと（12弟子批判）	期末考査 教会探検隊 礼拝レポート
2 学期	3. イエスの言葉と行動 4. 受難と復活の物語 5. まとめ	7. 癒しのわざ（治癒奇跡の必要性） 8. パンを増やす（自然奇跡の必要性） 9. 山上の説教（絶対平和主義の根拠） 10. 労働者たち（公平性と福祉） 11. イエスを導いた女性（差別の超克） 12. 納税問答（宗教批判者としてのイエス） 13. 最後の晩餐とゲツセマネの祈り （解釈された死の物語化①） 14. 十字架の死（解釈された死の物語化②） 15. 復活と昇天（復活物語の必要性） 16. イエスと現代	期末考査 教会探検隊 礼拝レポート
3 学期	6. 追補： 宗教多元化の時代に向けて	1. キリスト教とアメリカ 2. イスラームの基礎知識 3. 日本人の宗教観 （神道の歴史と仏教・キリスト教との関わり）	期末考査 教会探検隊 礼拝レポート

学 年	第3学年	教科書	特になし、随時プリントを配布する。
		副教材	『聖書 新共同訳』日本聖書協会

学習到達目標

「宗教と生命倫理」というテーマで、生命にまつわる様々な社会事象を、宗教的な観点から分析的に観てゆき、それぞれの問題に関して、自分の考えをまとめ、意見を表明し、他者に意見をよく知り、それに応答することを目指す。

具体的には、前半は「死の授業」、後半は「誕生の授業」とする。「死の授業」では、人間の生物学的な死、精神の死、社会的な死、霊的な死など複数の観点から死を見つめ、それらに宗教がどのような関わり方をし、また人を導いているかを学ぶ。「誕生の授業」では、出生前診断、代理母出産、中絶堕胎などの問題を見つめ、人間の生命の尊厳について学ぶ。

最終的には、人間の生命を聖なる尊厳を持つものとして認識し、将来人間的な生活や人との関わり方の益することを目指す。

学習方法

一人称の死、二人称の死、死の恐怖、死の受容、死後の世界、臨死体験……など、テーマごとにプリ

ントを配布し、教員が基本的な問題点を説明する。

それに対して、随時「ミニ・レポート」用紙に、各々の考えた事や意見などを記入し、提出する。担当教員はそれを集計し、生徒にフィードバックし、再考してもらおう。またその「ミニ・レポート」の内容に応じて、授業内容を変化させることもありうる。

学期末ごとの考査では、その学期に扱ったテーマに関する論述問題が中心となる。

年間シラバス (1年間の学習予定表)

〈週1時間〉

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1 学期	1. 概論「宗教と生命倫理」 2. 痛みの問題 3. 死の恐怖の問題	1. 生命の聖性、神による生命の創造 1. 痛みの定義と種類 2. 痛みへの総合的なケア 1. 死の恐怖を左右する要因 2. 死の受容 (以上の各テーマにおける深い考察)	期末考査 ミニ・レポート
2 学期	4. 死後の世界 5. 出生の問題 6. 存在の意味と尊厳	1. 仏教における死後の世界 2. キリスト教における死後の世界 3. 臨死体験 1. 人間の誕生プロセス 2. 妊娠中絶の法律と実態 3. 赤ちゃんポストの問題 1. セクシャル・マイノリティの人権 2. 人間の尊厳と宗教 (以上の各テーマにおける深い考察)	期末考査 ミニ・レポート
3 学期	7. 大学進学に向けて	1. 死生観から観た人間 2. これから出会う人の尊厳 3. 多様な人間の共生 (以上の各テーマにおける深い考察)	